

下郷の芸術文化

文芸部門

大賞／俳句 野尻美智子
「蓮の花散りてたましい運ぶ舟」

市長賞／短歌 岡村美枝子
「土笛を吹く少女ゐる考古館
古代の風を聴くごと歩む」

- ①随筆 和田ゆり子
- ②川柳 田中文雄
- ③俳句 坂本悦子

小中学生川柳大会

【優秀賞】

- 多田凜香(菊川中学校1年)
- 野村碧衣(菊川中学校1年)
- 藤本乃愛(菊川中学校2年)
- 平岡あゆみ(菊川中学校3年)
- 高田千尋(菊川中学校2年)

市芸術文化祭の各部門の入賞者と、芸術文化振興奨励賞の受賞者を紹介します

美術部門

大賞／工芸 佐藤典子

【第1部】

市長賞／洋画 久保田啓子

- ①洋画 林 裕子
- ②洋画 徳田和幸
- ④洋画 松本正信
- ⑤版画・水彩画等 河原明彦

【第2部】

市長賞／書 塩田智枝(華梢)

- ①書 中野千香(星彩)
- ②書 森中登美子
- ⑥書 三浦正美(香苑)

【第3部】

市長賞／工芸 高山 博

- ①写真 前田泰子
- ②工芸 安田みゆき
- ⑦写真 三浦えみ子
- ⑧写真 梶間幹雄

【各賞の内訳】

- ①市議会議長賞 ②教育長賞
- ③市文化連合会長賞 ④市文化協会会長賞
- ⑤菊川文化協会会長賞
- ⑥豊田文化協会会長賞 ⑦豊浦文化協会会長賞
- ⑧豊北文化協会会長賞



▲市長賞(書) 塩田智枝(華梢)「聴蜀僧澹弹琴」

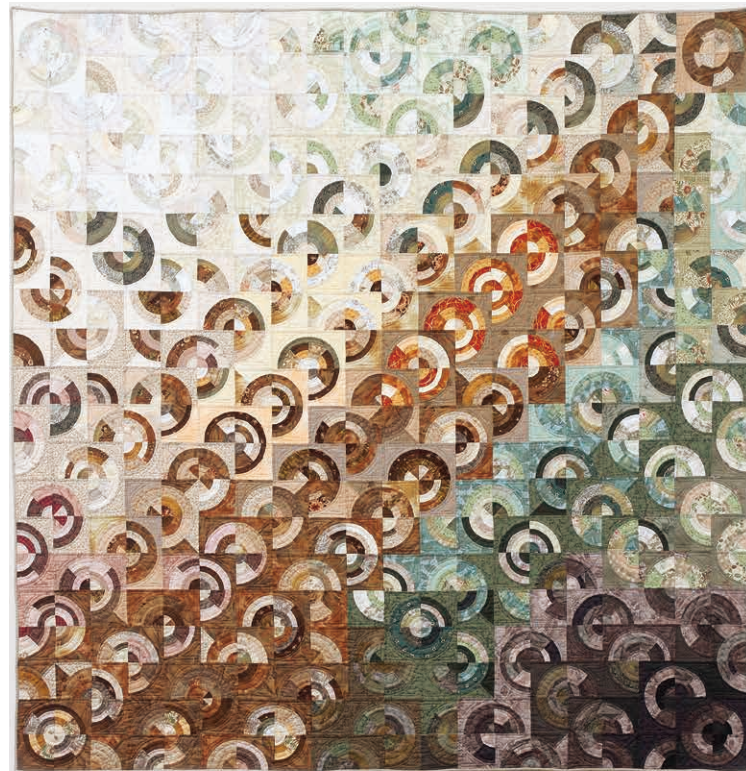
▼市長賞(工芸) 高山 博「木ノ葉の器、いろいろ」



▼市長賞(洋画) 久保田啓子「Hesitation (迷い)」



▼大賞(工芸) 佐藤典子「輪舞 ～想～」



芸術文化振興奨励賞受賞者

芸術文化の分野で高い水準の創作活動を続けている市内の将来性のある個人、団体に授与するもの



美術部門・洋画

市場恭二さん

北九州市小倉出身の市場さんは、中学時代に油絵を始め、高校でも美術部に所属します。デザインの専門学校へ進み、東京のデザイン会社で働いていました。その後、23歳で帰郷。新しいことに挑戦しようと料理の世界に飛び込みます。10年ほど修行した後、下関で独立。赤間町でおでんの専門店をオープンしました。10年以上、美術からは離れていましたが、「独立して、店の経営も軌道に乗り、落ち着いてくると、どうしても美術の虫がうずいて」と笑う市場さん。38歳で、再び筆を手にしします。

市場さんの描く手法は、アクリル絵の具を使った点描というもの。「私の場合は、普通の点描と違い、点と点の密度を高くし、何度も上塗りしていくもので、点の濃淡で作品を表現していきます」。点で描

自分の好きな表現を 突き詰めていきたい

いていくため、完成にはかなりの時間を要するとともに、神経をすり減らす作業の連続となります。「命を削って描いている、と言われることもありますよ」とにこやかに話します。

今後については、「自分が何を表現したか。そこだけはぶれずに、周りの評価よりも、自分の好きな表現を突き詰めていきたいですね」と話してくれました。



音楽部門・箏

山本裕子さん

絃照会に所属する山本さんは、6歳から箏を始めました。「中高生のころは、学校の部活があったり、はやりの洋楽に興味を持ったりで、少し関心が薄れた時期もありましたね」と笑う山本さん。しかし、20歳のころ、ホームステイでアメリカを訪れた際に、現地で箏を披露する機会がありました。意識が変わったといいます。「みんながすごく関心を持ってくれたんです。うれしかったのと同時に、私は素晴らしいものを小さいころから学んでいたんだ、ということを実感しました」

現在は、下関女子短期大学付属高等学

新しいことにチャレンジも 正統派の古典を後世に伝えたい

校の部活にて指導員を務めるほか、同高の選択授業でも箏を指導しています。生徒たちの希望で、流行の新曲を取り入れることもあり、「生徒たちの若い感性に刺激されることも多いです」と山本さん。「新しいことにチャレンジしつつも、正統派の古典をしっかりと伝えていきたいですね」と話します。

「母、柳瀬和子は祖母の遺志を継ぎ、赤木三晃先生に長年師事し、私や2人の妹達を育て上げ、地方から発信できる芸を探究してきました。家族で演奏会ができるという恵まれた環境に感謝しこれからも日々精進していきたいです」。



美術部門・洋画

井上千秋さん

井上さんは、中学、高校と美術部に所属し、大学は山口大学教育学部芸術科に進学します。大学卒業後は、25年間、市内中学校の美術教師として教壇に立っていました。

井上さんの描く作品のモチーフは、身近にあるものがほとんど。現在はトンボ(ギンヤンマ)や植物(ノウゼンカズラ)が

昨年は二紀奨励賞を受賞 市内でも発表していきたい

多いといいます。「ギンヤンマは空飛ぶ宝石と呼ばれていて、羽化したばかりのものは本当に美しいですね」。また、「ノウゼンカズラは綾羅木川に何度も見に行きました」。

作品を描くうえでは、「なるべく押しつけがましくならないように気を付けています」と井上さん。「作品を見た方が、何かしら感じる場所があればありがたいですね」と話します。

井上さんは、全国的な組織の二紀会に所属しており、昨年には、二紀奨励賞を受賞しています。

今後は、「自己満足で終わらず、作品をたくさんの方に見てもらいたいと思っています。もっと市内で作品を発表していきたいですね」。また、「教えることも好きなので、絵画教室をいつか開くのが夢なんです」と話してくれました。

